

2025年
1月号

薬剤部通信

見てね!



薬剤師の活動や参加イベント情報などをお伝えしていきます!

■ 薬剤部ゼミ報告

12月27日に竹田ホールで薬剤部ゼミが開催されました。今回のテーマは「化学療法室における介入症例」で、化学療法室齋藤が担当しました。今年度はがん専門薬剤師資格の更新時期であったため、学会に症例を提出しました。これらの症例が、今後がん専門薬剤師を目指す方々の参考になれば幸いです。〈齋藤(浩)〉



■ 企業説明会への参加報告

11月13日に奥羽大学で行われた職業研究セミナーに参加してきました。4年生9名、5年生6名の計15名が来てくれて、業務に関することだけでなく、就学資金制度や奨学金返済制度に関する質問が多かった印象です。まずはこの機会に見学に来てくれる学生が増えると嬉しいです。〈緑川〉



■ 災害薬事コーディネーター研修



災害薬事コーディネーター研修に参加してきました。

「災害薬事コーディネーター」とは、災害(地震、大雨による洪水、原子力災害等)が発生し、平時の医療行為が出来なくなった時、保健所の薬務課などと協力して、地域の医療機関が、平時の医療行為を行えるようになるまでの間、災害医療福祉本部で活動する組織です。

地域で災害が起こった時、自分が動いている医療機関や薬局が機能しなくなったらどうでしょう?DMATが来てくれたり、他の地域の医療機関から薬剤師のボランティアが集まってきたり。ただ、どの病院や薬局でどれほど機能していないのか?ボランティアの薬剤師はどの施設に行けばいいのか?ボランティアや支援物資のマッチングには、地域の細かな情報を収集して、整理して、様々な団体へ提供しなければいけません。そのような役割を担うのが災害薬事コーディネーターです。他にも避難所での薬の提供や衛生管理などを行います。

研修を受けて、災害医療の知識も大切であるが、何よりも他施設の方とコミュニケーションを取れる関係を普段から作っておくことが大切であると感じました。どのような施設においても災害が起こる可能性はあります。皆さんも、普段から災害時の対応について考えてみましょう。〈石黒〉

■ 福島県緩和ケア研修会

各施設の薬剤師が集まり、癌の診断から終末期までの治療についてディスカッションを行いました。治療抵抗性の苦痛に対する鎮静は実際に経験したことがなく、ガイドラインなどから学ぶだけでしたが、ディスカッションを行ったことで薬の使い方や鎮静の評価の仕方をイメージし、理解することができました。ディスカッションを行うことで知識を整理したり、新しい情報を得られたりするので、今後様々な分野の研修会に参加していきます。〈成田〉

ファシリテーターとして参加しました。担当グループでは2年目の薬剤師が参加していましたが、予習をしっかりと行い、積極的に発言してくれていました。まだ臨床で経験がなくても、GWでは薬学的知識に加え、どのような姿勢・態度で先輩が患者さんと対峙しているのかも学んでもらえたらと思います。〈香内〉

■ 妊婦授乳婦薬物療法のための連携講座を受講して

妊婦授乳婦への服薬指導は、〇×で伝えられるものではなく、患者の判断の手助けとなるように悪影響の種類や発生確率など正しい情報を調べ伝えることが大切だと改めて感じた。また、病院内でのカウンセリングだけでなく調剤薬局と内容を共有することも大事であり、妊婦授乳婦領域でも薬薬連携が進めばより良い介入が行えると感じた。〈慶徳〉



妊婦・授乳婦の薬物療法のための連携講座を受講しました。周産期の薬物治療における薬薬連携の重要性について改めて学ぶことができました。今後も積極的に勉強会に参加し、認定取得を目指したいと思います。〈山田〉

■ 今年の漢字



個人的な話ですが、今年40歳を迎えます。不惑の年です。「今までの自分の生き方に自信を持ち、ものの考え方に迷わなくなる」とされています。私は優柔不断です。これからも迷いながら、人生を歩んでいく姿が想像できます。ですが、迷うことは悪いことばかりではないと考えています。迷うということは

色々な選択肢が浮かんでいるということであり、それゆえに物事を熟慮するということでもあります。孔子のように不惑の年とはいかないかもしれませんが、今年も、自分なりに精一杯生きていこうと思います。〈菊地〉



昨年40歳になったのですが、ある書籍に「人生は40代からが本番」と書いてありました。と、オリラジのあっちゃんもYouTubeで言ってました。30代までは言わば“研修期間”であり、40代以降は本格的に自分の人生を築く時期なんだそう。

“不惑”とは数え年での40歳のことを指すそうですが、これから先をどう生きていくのか私はまだ迷ってばかりです。まずは自分の思考や感情を整え今後の人生の指針を見出すこと。そして、これまでがむしやりにやってきたことを整理し、これから学びたいことは何なのか考えること。あとは単純に散らかり放題の自宅の部屋や職場のデスク回りを整理整頓しなければ…ということでこの漢字です。〈齋藤(裕)〉



竹田総合病院 薬剤部